

平成 30 年 6 月 10 日 (日) 施行

第 149 回 日商簿記検定試験 2 級 解説

第 1 問

1. 電子記録債権の帳簿価額と譲渡金額が異なる場合には、差額を電子記録債権売却損(費用)で処理する。
2. 満期保有目的債券：額面総額 $\text{¥}1,000,000 \times \text{¥}98.80 / \text{¥}100 = \text{¥}988,000$
 有価証券利息：直近の利払日の翌日から売買日当日まで 80 日(X 年 4 月 1 日～X 年 6 月 19 日)
 額面総額 $\text{¥}1,000,000 \times 0.365\% \times 80 \text{ 日} / 365 \text{ 日} = \text{¥}800$
3. 工事代金のうち、改良のための支出と判断された部分を資本的支出といい、建物(資産)として計上する。設定されている修繕引当金を取り崩し、残額を修繕費(費用・収益的支出)で計上する。
 建物：工事代金 $\text{¥}900,000 \times 20\% = \text{¥}180,000$
 修繕費：工事代金 $\text{¥}900,000 - \text{建物} \text{¥}180,000 - \text{修繕引当金} \text{¥}600,000 = \text{¥}120,000$
4. 申込証拠金受取時：

(借) 別 段 預 金	22,400,000	(貸) 株式申込証拠金	22,400,000
-------------	------------	-------------	------------

800 株 $\times @ \text{¥}28,000 = \text{¥}22,400,000$
 資本金の最低額組み入れ(容認：払込金額の 2 分の 1)
 資本金・資本準備金： $\text{¥}22,400,000 \times 1/2 = \text{¥}11,200,000$
5. 利子抜き法で会計処理を行うため、リース資産・リース債務は見積現金購入価額で計上する。

第2問

1. 輸入関連取引

(1) 1月1日 前期繰越

買掛金(外貨建) : ¥3,150,000 ÷ ¥105/1 ドル = 30,000 ドル

(2) 2月28日 買掛金支払

(借)	買掛金	3,150,000	(貸)	普通預金	3,300,000
	為替差損	150,000			

普通預金 : 前期繰越 30,000 ドル × 支払時の為替相場 ¥110/1 ドル = ¥3,300,000

為替差損 : 普通預金 ¥3,300,000 - 買掛金(前期繰越) ¥3,150,000 = ¥150,000

(3) 4月30日 輸入

(借)	商品	3,240,000	(貸)	買掛金	3,240,000
-----	----	-----------	-----	-----	-----------

買掛金 : 3,000 個 × @10 ドル = 30,000 ドル

30,000 ドル × 輸入時の為替相場 ¥108/1 ドル = ¥3,240,000

(4) 7月31日 買掛金支払

(借)	買掛金	3,240,000	(貸)	普通預金	3,360,000
	為替差損	120,000			

普通預金 : 30,000 ドル(4月30日) × 支払時の為替相場 ¥112/1 ドル = ¥3,360,000

為替差損 : 普通預金 ¥3,360,000 - 買掛金(4月30日) ¥3,240,000 = ¥120,000

(5) 11月1日 輸入

機械装置 Y

(借)	機械装置	5,814,000	(貸)	未払金	5,814,000
-----	------	-----------	-----	-----	-----------

購入価額 51,000 ドル × 輸入時の為替相場 ¥114/1 ドル = ¥5,814,000

商品 X

(借)	商品	2,508,000	(貸)	買掛金	2,508,000
-----	----	-----------	-----	-----	-----------

買掛金 : 2,000 個 × @11 ドル = 22,000 ドル

22,000 ドル × 輸入時の為替相場 ¥114/1 ドル = ¥2,508,000

2. 商品販売取引

商品有高帳 (X商品)

(単位 : 円)

平成 X1年	摘要	受 入			払 出			残 高			
		数量	単価	金額	数量	単価	金額	数量	単価	金額	
1	1	前期繰越	2,000	1,000	2,000,000				2,000	1,000	2,000,000
	31	売上				1,000	1,000	1,000,000	1,000	1,000	1,000,000
4	30	仕入	3,000	1,080	3,240,000				4,000	1,060	4,240,000
5	15	売上				1,000	1,060	1,060,000	3,000	1,060	3,180,000
6	30	売上				1,000	1,060	1,060,000	2,000	1,060	2,120,000
11	1	仕入	2,000	1,254	2,508,000				4,000	1,157	4,628,000
	15	売上				1,500	1,157	1,735,500	2,500	1,157	2,892,500
12	1	売上				1,500	1,157	1,735,500	1,000	1,157	1,157,000
	31	棚卸減耗損				50	1,157	57,850	950	1,157	1,099,150
	"	次期繰越				950	1,157	1,099,150			
			7,000		7,448,000	7,000		7,448,000			

(1) 1月31日 A商会

(借) 売掛金	1,800,000	(貸) 売上	1,800,000
売上原価	1,000,000	商品	1,000,000

売上高：1,000個×販売単価@¥1,800=¥1,800,000

売上原価：上記の商品有高帳参照

(2) 5月15日 B商会

(借) 売掛金	2,000,000	(貸) 売上	2,000,000
売上原価	1,060,000	商品	1,060,000

売上高：1,000個×販売単価@¥2,000=¥2,000,000

売上原価：上記の商品有高帳参照

(3) 6月30日 C商会

(借) 売掛金	2,050,000	(貸) 売上	2,050,000
売上原価	1,060,000	商品	1,060,000

売上高：1,000個×販売単価@¥2,050=¥2,050,000

売上原価：上記の商品有高帳参照

(4) 11月15日 D商会

(借) 売掛金	3,300,000	(貸) 売上	3,300,000
売上原価	1,735,500	商品	1,735,500

売上高：1,500個×販売単価@¥2,200=¥3,300,000

売上原価：上記の商品有高帳参照

(5) 12月1日 E商会

(借) 売掛金	3,375,000	(貸) 売上	3,375,000
売上原価	1,735,500	商品	1,735,500

売上高：1,500個×販売単価@¥2,250=¥3,375,000

売上原価：上記の商品有高帳参照

3. 決算整理

(1) 買掛金の換算替え

(借) 為替差損	132,000	(貸) 買掛金	132,000
----------	---------	---------	---------

22,000ドル(11月1日)×(決算日の為替相場¥120/1ドルー輸入時の為替相場¥114/1ドル)
 =¥132,000

(2) 未払金の換算替え

(借) 為替差損	306,000	(貸) 未払金	306,000
----------	---------	---------	---------

51,000ドル(11月1日)×(決算日の為替相場¥120/1ドルー輸入時の為替相場¥114/1ドル)
 =¥306,000

(3) 商品Xの棚卸減耗

(借) 棚卸減耗損	57,850	(貸) 商品	57,850
-----------	--------	--------	--------

上記の商品有高帳参照

(帳簿棚卸数量1,000個ー実地棚卸数量950個)×@¥1,157=¥57,850

(4) 機械装置の減価償却

(借) 減価償却費	96,900	(貸) 機械装置	96,900
-----------	--------	----------	--------

取得原価¥5,814,000÷10年×2か月/12か月=¥96,900

5. 損益の金額

- (1) 当期の売上高：A 商会 ¥1,800,000 + B 商会 ¥2,000,000 + C 商会 ¥2,050,000 + D 商会 ¥3,300,000 + E 商会 ¥3,375,000 = ¥12,525,000
- (2) 当期の為替差損：¥150,000(2 月 28 日) + ¥120,000(7 月 31 日) + ¥132,000(12 月 31 日) + ¥306,000(12 月 31 日) = ¥708,000
- (3) 当期の為替差益：為替差益は生じていない。

第3問

1. 支店側の会計処理

(B) 未処理事項等

(1) 現金の送付

(借) 本	店	9,000	(貸) 現金預金	9,000
-------	---	-------	----------	-------

誤って多く記帳したため、現金¥9,000(¥76,000-¥67,000)を相殺して計上する。

(2) 商品の移送

(借) 仕	入	108,000	(貸) 本	店	108,000
-------	---	---------	-------	---	---------

(C) 決算整理事項等

(1) 売上原価の計上

(借) 仕	入	483,000	(貸) 繰越商品	483,000	
	繰越商品	432,000	仕	入	432,000
	棚卸減耗損	8,100	繰越商品	8,100	

期首商品：(A)残高試算表より

期末商品：帳簿棚卸数量 800 個 × @ ¥540 = ¥432,000

棚卸減耗損：(帳簿棚卸数量 800 個 - 実地棚卸数量 785 個) × 原価 @ ¥540 = ¥8,100

※正味売却価額 @ ¥550 > 原価 @ ¥540、商品評価損は計上しない。

(2) 貸倒引当金の設定

(借) 貸倒引当金繰入	2,450	(貸) 貸倒引当金	2,450
-------------	-------	-----------	-------

売掛金 ¥865,000 × 1% - 貸倒引当金(残高試算表) ¥6,200 = ¥2,450

(3) 有形固定資産の減価償却

(借) 減価償却費	70,000	(貸) 備品減価償却累計額	70,000
-----------	--------	---------------	--------

備品 ¥350,000 ÷ 耐用年数 5 年 = ¥70,000

(4) 経過勘定項目

(借) 給	料	50,000	(貸) 未払給料	50,000
	支払家賃	50,000	未払家賃	50,000

(5) 広告宣伝費

(借) 広告宣伝費	60,000	(貸) 本	店	60,000
-----------	--------	-------	---	--------

(6) 当期純利益の振替え

(借) 損	益	208,250	(貸) 本	店	208,250
-------	---	---------	-------	---	---------

損 益

日	付	摘 要	借 方	日	付	摘 要	貸 方
3	31	仕 入	1,573,800	3	31	売 上	3,240,000
3	31	棚卸減耗損	8,100	3	31	受取手数料	1,800
3	31	支払家賃	600,000				
3	31	給 料	660,000				
3	31	広告宣伝費	119,200				
3	31	減価償却費	70,000				
3	31	貸倒引当金繰入	2,450				
3	31	本 店	208,250				
			3,241,800				3,241,800

2. 本店側の会計処理

(B) 未処理事項等

(1) 売掛金の回収

(借) 現金預金	60,000	(貸) 売掛金	60,000
----------	--------	---------	--------

(2) 車両の購入

(借) 車両運搬具	2,000,000	(貸) 未払金	2,000,000
-----------	-----------	---------	-----------

(3) 商品の移送

(借) 支店	108,000	(貸) 仕入	108,000
--------	---------	--------	---------

(C) 決算整理事項等

(1) 売上原価の計上

(借) 仕入	717,000	(貸) 繰越商品	717,000
繰越商品	756,000	仕入	756,000
棚卸減耗損	22,680	繰越商品	22,680
商品評価損	19,400	繰越商品	19,400

期首商品：(A)残高試算表より

期末商品：帳簿棚卸数量 1,000 個 × @ ¥756 = ¥756,000

棚卸減耗損：(帳簿棚卸数量 1,000 個 - 実地棚卸数量 970 個) × 原価 @ ¥756 = ¥22,680

商品評価損：(原価 @ ¥756 - 正味売却価額 @ ¥736) × 実地棚卸数量 970 個 = ¥19,400

(2) 貸倒引当金の設定

(借) 貸倒引当金繰入	80	(貸) 貸倒引当金	80
-------------	----	-----------	----

売掛金(試算表 ¥1,098,000 - 回収分 ¥60,000) × 1% - 貸倒引当金(残高試算表) ¥10,300 = ¥80

(3) 有形固定資産の減価償却

(借) 減価償却費	160,000	(貸) 備品減価償却累計額	120,000
		車両運搬具減価償却累計額	40,000

備品 ¥600,000 ÷ 耐用年数 5 年 = ¥120,000

車両運搬具 ¥2,000,000 × 当期の利用距離 3,000km / 総利用可能距離 150,000km = ¥40,000

(4) 満期保有目的債券

(借) 満期保有目的債券	1,000	(貸) 有価証券利息	1,000
--------------	-------	------------	-------

(額面総額 ¥1,000,000 - 取得価額 ¥990,000) ÷ 償却期間 10 年 = ¥1,000

(5) その他有価証券の評価

(借) その他有価証券	59,000	(貸) その他有価証券差額金	59,000
-------------	--------	----------------	--------

時価 ¥784,000 - ¥725,000(試算表) = ¥59,000

(6) 経過勘定項目

(借) 給料	70,000	(貸) 未払給料	70,000
前払家賃	60,000	支払家賃	60,000

(7) 消費税(税込方式)

(借) 租税公課	415,200	(貸) 未払消費税	415,200
----------	---------	-----------	---------

{(本店売上 ¥7,560,000 - 本店仕入 ¥3,780,000) + (支店売上 ¥3,240,000 - 支店仕入 ¥1,414,800)} × 8% / 108% = ¥415,200

(8) のれんの償却

(借) のれん償却	120,000	(貸) のれん	120,000
-----------	---------	---------	---------

残存年数：10年－3年(平成26年4月～平成29年3月)＝7年

残存価額¥840,000(試算表)÷残存年数7年＝¥120,000

(9) 広告宣伝費

(借) 支店	60,000	(貸) 広告宣伝費	60,000
--------	--------	-----------	--------

(10) 支店損益の振替え

(借) 支店	208,250	(貸) 損益	208,250
--------	---------	--------	---------

(11) 繰越利益剰余金の振替え

(借) 損益	1,554,590	(貸) 繰越利益剰余金	1,554,590
--------	-----------	-------------	-----------

第4問

1. 仕掛品

原 料				
期首有高	480,000	当期消費高	3,945,000	⇒仕掛品
当期仕入高	3,880,000	期末有高	415,000	
	<u>4,360,000</u>		<u>4,360,000</u>	

直接工賃金				
当期支払高	1,640,000	期首未払高	220,000	
期末未払高	205,000	当期消費高	1,625,000	⇒仕掛品
	<u>1,845,000</u>		<u>1,845,000</u>	

間接工賃金				
当期支払高	510,000	期首未払高	55,000	
期末未払高	48,000	当期消費高	503,000	⇒製造間接費
	<u>558,000</u>		<u>558,000</u>	

製造間接費				
間接工賃金	503,000	予定配賦額	650,000	⇒仕掛品
電力料	187,000	原価差異	40,000	⇒変動売上原価
	<u>690,000</u>		<u>690,000</u>	

※製造経費のうち電力料のみが変動費

予定配賦額：直接労務費当期消費高 ¥1,625,000 × 40% = ¥650,000

↓

仕 掛 品

期首有高	585,000	当期完成高	6,165,000	⇒当期製品変動製造原価
直接材料費	3,945,000	期末有高	640,000	
直接労務費	1,625,000			
変動製造間接費	650,000			
	<u>6,805,000</u>		<u>6,805,000</u>	

2. 直接原価計算による損益計算書

(1) 原価差異(不利差異) ¥40,000 は、売上原価に加算する。

(2) 固定費の計上

工場従業員給料				
当期支払高	720,000	期首未払高	85,000	
期末未払高	80,000	当期消費高	715,000	⇒製造固定費
	<u>800,000</u>		<u>800,000</u>	

製造固定費：保険料 ¥210,000 + 減価償却費 ¥264,000 + その他経費 ¥185,000

+ 工場従業員給料 ¥715,000 = ¥1,374,000

固定販売費・一般管理費：固定販売費 ¥406,000 + 一般管理費 ¥475,000 = ¥881,000

第5問

第1工程

減損は工程の途中で発生した正常なものであり、正常減損の処理は度外視法により、完成品と月末仕掛品の両者に負担させる。

		原料費 (個)			
86,000 円	月初 400	完成 7,600		1,748,000 円	
1,800,000 円	当月 7,800				
	=7,600+600 -400	仕損 200			
		月末 600		138,000 円	

月末仕掛品原価： $(¥86,000 + ¥1,800,000) \div (400 \text{ 個} + 7,800 \text{ 個}) \times 600 \text{ 個} = ¥138,000$

当月完成品原価： $(¥86,000 + ¥1,800,000) - ¥138,000 = ¥1,748,000$

		加工費 (個)			
175,000 円	月初 200	完成 7,600		3,420,000 円	
	=400×50%				
3,380,000 円	当月 7,700				
	=7,600+300 -200	仕損 200			
		月末 300		135,000 円	
		=600×50%			

月末仕掛品原価： $(¥175,000 + ¥3,380,000) \div (200 \text{ 個} + 7,700 \text{ 個}) \times 300 \text{ 個} = ¥135,000$

当月完成品原価： $(¥175,000 + ¥3,380,000) - ¥135,000 = ¥3,420,000$

第2工程

減損は工程の終点で発生した正常なものであり、問題文により完成品に負担させる。

		前工程費			
¥416,400	月初	800	完成	7,200	仕損費は完成品負担 ¥4,904,400
¥5,168,000	当月	7,600	仕損	200	
		= 7,200 + 200 + 1,000 - 800			
					¥680,000

月末仕掛品原価： $¥5,168,000 \div 7,600 \text{ 個} \times 1,000 \text{ 個} = ¥680,000$

当月完成品原価： $(¥416,400 + ¥5,168,000) - ¥680,000 = ¥4,904,400$

		加工費			
¥241,600	月初	600	完成	7,200	仕損費は完成品負担 ¥4,593,600
¥4,608,000	当月	7,200	仕損	200	
		= 7,200 + 200 + 400 - 600			
					¥256,000

月末仕掛品原価： $¥4,608,000 \div 7,200 \text{ 個} \times 400 \text{ 個} = ¥256,000$

当月完成品原価： $(¥241,600 + ¥4,608,000) - ¥256,000 = ¥4,593,600$

第2工程完成品総合原価： $(前工程費 ¥4,904,400 + 加工費 ¥4,593,600) - 正常仕損品 ¥210,000$
 $= ¥9,288,000$